

小規模企業景気動向調査

[平成23年6月期調査]

～震災前の状態に回復しつつあるものの、改善の幅には差が見られる小規模企業景況～

2011年7月25日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員
調査時点：2011年6月末
調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…震災前の状態に回復しつつあるものの、改善の幅には差が見られる小規模企業景況…◇

6月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、▲41.6と前月調査に比べ7.8ptと2期連続で改善となった。また、全業種において調査項目すべてが改善を示した。特に、サービス業の売上額及び製造業の採算・概況については、10pt以上という大幅な改善となった。一方で小売業・建設業については緩やかな改善にとどまり、業種間に差が見られた。

<製造業> ◇…震災からの回復傾向にあるが、電力不足の影響が懸念される製造業…◇

製造業DIは、▲33.6と前月比で12.3ptと大幅な改善となった。東日本大震災直後から続いていた部品等の供給状態に改善が見られ、工場の稼働状況も震災前の状態に復旧しつつある。しかし、今夏の電力不足による節電対策や取引先の状況に応じた操業時間等の調整が、震災の影響から立ち直りつつある製造業の景況に影響を与えていくものと思われ、注視していく必要がある。

<建設業> ◇…改善は小幅に留まり、業界全体の回復は見られない建設業…◇

建設業DIは、▲54.1と4.0ptの改善に留まった。屋根工事業や建物解体業等の一部の業種では被災地の復旧のための受注が見られるものの、請負単価が安く、採算がとれない状況である。また、6月は官公需の発注が停滞する時期であるが、震災の影響もあり、例年よりも発注が限定的であり、業界全体の回復というところまでは至っていない。

<小売業> ◇…商品供給不足が解消し、猛暑・節電関連商品の動きが活発な小売業…◇

小売業のDIは、▲40.8と前月に比べ7.0ptの改善となった。一部被災地域を除き、震災発生以来の商品供給不足はほぼ解消された。全国的に気温が高く猛暑の傾向を示していることと、節電への備えから、納涼関連商品や扇風機等の冷房器具の売上が増加し、衣料品についてはクールビズ関連商品の動きが活発である。

<サービス業> ◇…3月連続で改善したものの、業種・地域の差が大きいサービス業…◇

サービス業DIは、▲37.7と7.9ptの3月連続の改善となった。震災及び自粛ムードからやや改善がみられていたが、6月20日に高速道路無料化社会実験の一時凍結され、宿泊業等観光関連の業種については影響が出始めており、震災以来の宿泊者減から倒産する施設も出ている。一方で、西日本を中心に昨年より好況な地域もあり、明暗が分かれている。

長雨の影響から洗濯関連の売上が伸びている地域もあるが、クールビズ関連の衣類は家庭で洗濯できるものが多く、クリーニングの利用が落ち込んでいる。また、理美容関連も来店頻度が伸びている。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比
売上額	▲46.9	▲38.9	8.0	▲37.6	▲31.2	6.4	▲50.8	▲44.2	6.6
採算	▲44.9	▲38.4	6.5	▲43.0	▲32.5	10.5	▲55.3	▲52.3	3.0
資金繰り	▲41.9	▲35.4	6.5	▲38.1	▲29.1	9.0	▲58.5	▲52.9	5.6
業況	▲49.4	▲41.6	7.8	▲45.9	▲33.6	12.3	▲58.1	▲54.1	4.0

業種	小売業			サービス業		
	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比
売上額	▲47.3	▲41.5	5.8	▲52.0	▲38.6	13.4
採算	▲42.5	▲36.6	5.9	▲38.6	▲32.5	6.1
資金繰り	▲36.5	▲31.4	5.1	▲34.5	▲28.1	6.4
業況	▲47.8	▲40.8	7.0	▲45.6	▲37.7	7.9

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。